

## 国際友好 フェア 2023

### CONTENTS

- ① イベント
- ② コラム
- ③ ご案内



開会式くす玉割りでお祝い



飲食販売ブース



国際交流テント 勾玉づくり



ステージ

絶好のフェア日和の快晴に恵まれた5月3日～4日に開催された“国際友好フェア2023”は、市民の森・見沼グリーンセンターで4年ぶりに開催され、大盛況でした。“シビック グリーンさいたま”と“春の園芸まつり”も「花と緑の祭典」として同時に行われました

この国際友好フェアの注目のステージでは、開会式挨拶のあと世界各国の民族舞踊や音楽が披露され、多くの観客が拍手喝采して楽しんでいました。

今回、24の国と地域、41の団体の出展がありました。活動紹介ブースの中の、国際交流テントでは、スタンプラリーをはじめ、勾玉づくりやうちわづくりなどを通じて国際交流体験ができるので、家族連れにとっても人気でした。防災テントではAEDの実演や防災クイズに真剣に取り組むなど、来場者は非日常的な事態の際どう対処するか知る良い機会になりました。

また、物品販売ブースでは世界各国の手芸品や土産品が、飲食販売ブースでは世界各国の飲物や料理が出され、来場者が長い行列を作り、手にした各国自慢料理の味を堪能していました。

このフェアは、コロナ禍で久しぶりのイベントということで、毎年来ていたのに開催されないのは淋しかったと笑顔一杯に心躍らせる人が多く、2日間の入場者数は約5万人となりました。イベントを主催した実行委員会の関係者や多数参加されたボランティアの方々の頑張りのもと無事に終了し、大成功のフェアとなりました。

# MY ボランティア STORY

今回からの新シリーズ  
「MyボランティアStory+」  
は、田中カツ子さんの  
Storyです。

2000年にIECに会員登録しました。こんなに長い間活動が続けられたのは良い友との出会いがあったからです。新しいことを始める時、困った時、お互いに助け合う友との出会いが私のやりがい、生きがいとなり、大きなパワーとなっています。

協会は財団法人、社団法人を経て公益社団法人へと名称を変更しています。まだ財団であった頃、これからの活動はどのような方向にすべきかを模索する勉強会があり、その一員となって、各地の講座を受講したりいくつかの交流協会に見学に行き、学ぶ機会を多く得た事は、その後の大きな糧となりました。「にほんごのへや」「日本語おしゃべり会」「ミニ講座」に関わるなど、現在につながる礎にもなりました。

異文化交流委員会委員、  
異文化交流委員会委員長、  
全体会議長、スピーチコ



日本語スピーチ大会  
第12回実行委員長挨拶



日本語おしゃべり会  
(本人後列左端)



伊豆でクロホシイシモチと

ンテスト実行委員長などを経験し、多くの事業にもかかわってきました。

活動の中で大きな事件と言えば東日本大震災とコロナ禍でしょう。地震発生時私はIECの会議室にいました。交通がマヒし帰宅が困難でした。またコロナ禍で活動の全てが中止になった時、オンラインの必要性を強く感じて勉強を始めたことは皆さんと一緒にです。

ボランティア日程優先の日常の中、その合間を縫ってモルディブの魚に会うために、水泳に取り組み、水中を歩くことから始めました。

南国の美しい海でダイビングした時は大感激！

たくさんの 鮮やかな魚と遭遇できたことは、忘れられない良い思い出です。

## ミニ講座

### ✈️>>>「島国つながりニュージーランド」

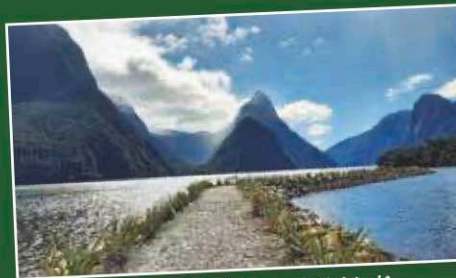
5月20日(土)にIECでミニ講座「島国つながりニュージーランド(以下NZ)」では、募集定員を上回る聴講者が参加し、NZの文化や社会について学びました。



講師のグラント ランデルさん



首都ウェリントンの位置



グラントさんお薦めのミルフォードサウンド

Q&A に対応する  
講師の笑顔



講師のグラント ランデルさんは、NZの首都ウェリントン市出身で、日本語と中国語にも堪能な国際人です。2022年8月からさいたま市の観光国際課で国際交流員として勤務しています。自己紹介のあとNZのお国柄をスライド映写しながら日本語と英語で話してくれました。

「NZは日本と同じ島国ですが、文化や社会はとても違う。公用語は英語、マオリ語、手話の3つ。議員の半数以上が女性で、一院制。人口約500万人で、多くは欧州系やマオリ系。近年、アジア系や太平洋系が増加。主な産業は酪農業や観光で、2,000万頭の羊や酪農製品やワインが有名。地震が多い地域で、断層が走っている南島では12年前大地震が発生。多様な大自然での観光のお薦めは南島のミルフォード サウンド」と講師から紹介されました。

沢山の質問を受けて、「小学校教育の違いは試験が無い事。子供に一番人気の職業はスポーツ選手かパイロット。見るスポーツ人気No.1はラグビー、するスポーツではサッカーが人気です。日本のような裸で楽しむ温泉文化は無い。教育では覚えるよりも考えて表現することを重視。英語や数学以外は自分で選択。積極的に移民を受け入れ少子化問題をカバーしてきている。日本に来て驚いたのは人の多さと満員電車」との回答がありました。

講座の最後に、講師との写真撮影や名刺交換、聴講者同士が交流したりしていました。内容たっぷりのアツと言う間の2時間でした。



大好き!

# SAITAMA さいたま



詹碧文(ツアン ビー ウエン) さん(台湾)

詹(ツアン)さんは台湾の大学(日本語学科)で日本語の読み・書き、文法、発音、アクセントなどを学び、上海師範大学で応用言語学の博士号を取得され、さいたま市の日本語指導員を中心に活動されていました。さいたま市には埼玉大学大学院への留学を含め通算12年お住まいです。

さいたま市の秋ヶ瀬公園、武蔵一宮氷川神社、氷川参道、大宮図書館など緑豊かで便利なところが大好きですと、流ちょうな日本語で話されました。

一方、埼玉大学の寮\*1での共同風呂が苦手で、今でもなじまないと、お困りのご様子でした(台湾でも温泉や共同風呂

があるが水着で入る)。

食べ物は“生魚”は食べられないが、火が通ってれば、酢飯は大好きなので、お寿司でも大丈夫!ただ“納豆”は食べられないそうです。

日本料理では、すき焼きが好きなので(特に甘いたれに卵を入れて食べるのが好き)、ご自分でも作るそうです。

台湾料理は、魯肉飯\*2(ルーローハン)、担子麵\*3(タンツォーメン)、果物では愛文芒果\*4(アイ ウン マン クオー)、鳳梨\*5(フォンリー)がお勧めだそうです。

今は、さいたま観光国際協会でボランティアスタッフとして活躍されています。6月末ごろからご家族とシンガポールで生活され、その後再びさいたま市にお住いの予定です。

時間を忘れるほど楽しく、記者冥利に尽きる取材でした。

\*1 1990年代の埼玉銀行の女子寮(埼玉大学の留学生寮があった)

\*2 魯肉飯:豚肉の醤油煮込みかけご飯

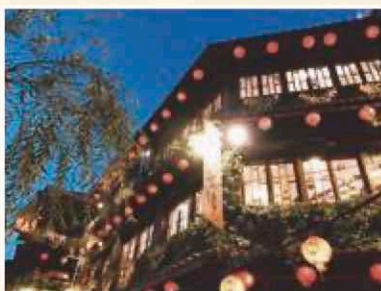
\*3 担子麵:エビだしのラーメン

\*4 愛文芒果:アップルマンゴー

\*5 鳳梨:パイナップル



▲大きな「大雞排」(チキンカツ)にびっくり!!



▲台湾九份



▲桜の木の下で

## 2023年 日本語 ボランティア 養成講座 入門編



講師の説明に熱心に聞き入る受講者▼



▲有田 玲子講師

5月27日(土)、「さあ!ボランティア始めよう はじめの一步」と題された日本語ボランティア養成講座が開催されました。本講座は多くの市民の関心を引き、55名もの人が集まりました。

講師は(東京にほんごネット)代表の有田玲子さんです。

講師自身も約20年前にボランティア活動を始めたことがきっかけで、現在のような日本語を通して外国人と関わる活動に至りました。

「日本語がよくわからない外国人に、ボランティアとしてどのように日本語を教えるのか」という疑問には、「日本語で挨拶すれば良い。外国人に日本語を教える時には英語を用いなければならないのではないかと思いがちだが、実はそうではなく、日本に住む外国人との共通語は“日本語”。教室に来る外国人は日本語を知りたい」と、答えました。

ボランティアとして活動する実際の場面では、「外国人との関わりの中で共通点や違いを見出し、そのことを楽しむことができれば良い。こんにちは、お元気ですか。何か困っていることはありませんか。と笑顔で話しかけましょう」と、アドバイスがありました。

受講者の多くは終了後に関連のパンフレットを手に取り、担当者に質問し、今後のボランティア活動への意欲をうかがわせる光景が見られました。実りある養成講座でした。



▲グループの話し合い、和気藹々

# おしゃべりサロン 参加者の皆様へ



ご参加の際は、マスクの着用をおすすめします。

## 【必ずお願いしたいこと】

- 体調が少しでもすぐれないと思われる方は、参加をご遠慮ください。(喉の痛み、咳、発熱、倦怠感、腹痛等)
- 事前にご自宅で検温
- こまめに手指の消毒
- 使用された椅子、机等を個々に消毒していただきますようお願いいたします。



スケジュールはHPを  
ご覧ください。



詳細はこちら ▶

# 多言語生活相談

国際交流センターでは、ボランティアスタッフによる外国人のための簡易生活相談を行っています。

対応可能言語は、英語、中国語、韓国・朝鮮語です。

※各言語の相談時間は以下の通りです。

■中国語
担当者 (Ms.) 印 志紅 (イン シコウ) <中国・上海出身>
日時 毎週火曜日 9:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 15:00 (受付は14:00まで) ※祝日休

■英語
担当者 (Mr.) LEANDER S. HUGHES (リアンダー ヒューズ) <アメリカ・ミネソタ州出身>
日時 毎週水曜日 9:00 ~ 12:30 / 13:00 ~ 14:30 (受付は14:00まで) ※祝日休

■韓国・朝鮮語
担当者 (Ms.) 林 景禧 (リム キョンヒ) <韓国・昌原出身>
日時 毎週木曜日 9:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 15:00 (受付は14:00まで) ※祝日休

※上記の曜日、時間帯以外はすべて日本語での対応となります。

■簡易生活相談 (基本的には日本語での対応となります)
担当者 市民ボランティア<日替わりで対応>
詳細は各窓口にお問い合わせください。

【生活相談窓口】 TEL 048-887-1506  
FAX 048-887-1505



思い起こせば3年に及ぶコロナ禍で、活動の多くが休止を余儀なくされた時期もありました。

春から初夏へと季節は変わり、各ボランティア活動やイベントも大勢の人が参加して活気あふれる活動が行われています。

おっと、久方ぶりに握ったペンが言う事を聞いてくれません。

下の3つの句に共通することばがあります。(ヒント:伊勢物語の東下りの段に登場する折句です。)

1. 作付けて 色青なる 田植えあと 待たれる秋の 幸せ笑顔
2. 咲き並び 色美しき 沢山の 真紫なる 菖蒲映える
3. 五月雨に 色濃き緑葉 沢山の 真白く光る 真珠乗せて

最後に編集のお手伝いをしていただける方を募集しています。

一緒にIECニュースを作ってみませんか。応募お待ちしております。



## 公益社団法人 さいたま観光国際協会 国際交流センター

Saitama Tourism and International Relations Bureau (STIB)  
International Exchange Center (IEC)

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町11-1 コムナーレ9F (JR浦和駅東口 浦和パルコ上)

TEL 048-813-8500 FAX 048-887-1505

E-mail iec@stib.jp URL https://www.stib.jp/kokusai

